

日本の伝統文化に親しんで 日本語を教えるボランティア  
 もらおうと、四日市市中部の 活動に参加。今年五月まで二  
 畳店四代目の石川淳二さん 年間、夫婦でアラスカから南  
 (三)が二十七日、カナダ人の 米、アフリカを旅行した経験  
 男女二人にミニ畳作りを手ほ があり「旅先で宿泊先の人に  
 ぞきた。

石川さんは中部地区市民セ へラジカの狩りやミサに連れ  
 ンターで週に一回、外国人に て行ってもらうなど、異文化  
 を身近に体験させてもらえ



## 日本文化の注目に励み

た。今度は自分が日本文化を  
 紹介したい」という思いを持  
 っていた。

石川さんに指導を願ひ出た  
 のは、カナダ南東部のニュー  
 ブランズウィック州からAL  
 T(外国語指導助手)として  
 五月前月に桑名市の高校に赴  
 任し、同センターに生徒とし  
 て通うジョー・キャリーさん  
 (三〇)と、友人で二週間前に来  
 日したテンパー・ハールさん  
 (三四)。

二人は、実際とほぼ同様の  
 作業工程でミニ畳作りに挑  
 戦。木くずを圧縮した二十センチ  
 四方のボードに畳表を張り、  
 へりをずれないように付けて  
 仕上げた。二人は「畳は香り  
 が良くて美しい。花瓶や写真  
 を飾る台として家族にプレゼ  
 ントしたい」と喜んでいた。  
 石川さんは「日本でも洋間  
 が増えて畳の需要が減る中、  
 外国人に注目してもらえると  
 励みになる。これからもこう  
 いった活動を続けたい」と話  
 している。(大森進)

カナダ人にミニ畳の作り方を教える  
 石川淳二さん(中) 四日市市中部で

# 畳は香り良く美しい